

令和4年(2022年)12月 花き部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年12月 数 量	2022年12月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	切花	キ ク	愛知県・沖縄県が主要産地です。数量はやや減少しました。 平均単価はやや高く推移しました。	1,269,935	70	96%	104%
2		小 菊	沖縄県が主要産地です。数量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	287,080	33	91%	105%
3		バ ラ	群馬県・愛知県が主要産地です。作柄が悪く、数量は減少しました。 平均単価は高く推移しました。	103,366	110	89%	113%
4		カーネーション	千葉県・コロンビアが主要産地です。作柄が悪く数量はかなり減少しました。 平均単価はかなり高く推移しました。	474,626	56	64%	123%
5		かすみ草	熊本県・和歌山県が主要産地です。作柄が良く数量はかなり増加しました。 平均単価は前年並みで推移しました。	69,580	86	122%	100%
6	鉢物	シクラメン	神奈川県が主要産地です。ギフト用よりもホームユースの需要が高く、数量はかなり増加したものの、平均単価はかなり安く推移しました。	30,766	391	141%	65%
7							
8							

【増減基準】

- ①並み、横ばい：(＋)0～2%
 ②やや増加(減少)：(＋)3～10%
 ③増加(減少)：(＋)11～20%
 ④かなり増加(減少)：(＋)21～50%
 ⑤大幅に増加(減少)：(＋)51%以上